

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニファクチュアリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します

“トピックス”

社長とのディスカッション開催（10月26日～11月19日）

コミュニケーションを大切にしたいという社長の思いで、社長と各職場のディスカッションを開催しました（合計19回）。

出席者は、社長に自部署の直近の課題と取組み状況、中長期の課題、会社への要望などを伝え、これらに対してどう取り組むべきか、意見交換を行いました。

当日のディスカッションで出た意見・課題は、何でも言える風通しの良い明るい職場づくりのため、解決・実行していきます。

（担当部署：CSR・経営企画室 077-534-0956）



石川保全事業部 右から2人目が社長

東レエンジニアリンググループ「ちりつも作戦」アイデア（くふう）賞受賞！！

東レエンジニアリンググループ（以下TEKグループ）では、経費節減・工数削減を目的に、グループ全体で塵も積もれば山となる「ちりつも作戦」に取り組んでいます。

当社でも各職場でそれぞれ工夫して取り組んでいますが、この度第2四半期のTEKグループ全体の審査において、愛媛保全事業部のチームウエストサークルが、アイデア（くふう）賞を受賞しました！業務のやり方（資料作成の方法）を見直し、資料作成にかかる時間を短縮できたことを高く評価いただきました。

WTEのちりつも作戦④

チームウエストでは、「足場リスト」と「足場設置・解体作業確認書」の二つの書類を作成していましたが、同じ内容を入力していました。

そこで、二つのファイルを一つにまとめ、足場リストに入力すると自動的に作業確認書に反映されるようにし、入力時間の短縮を図りました。エクセルのプルダウン機能を活用しています。

この改善により1件あたりの作業時間を半減することができました。

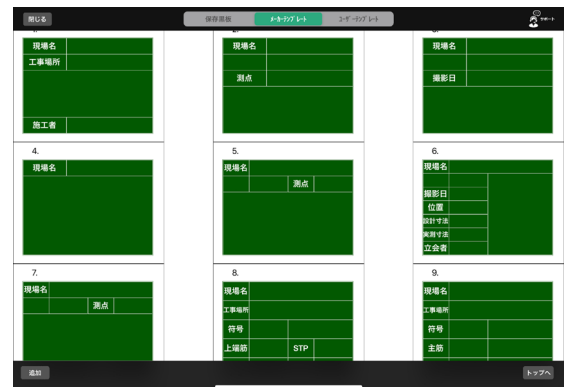
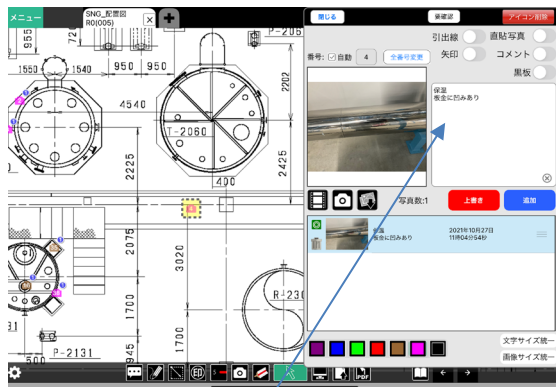
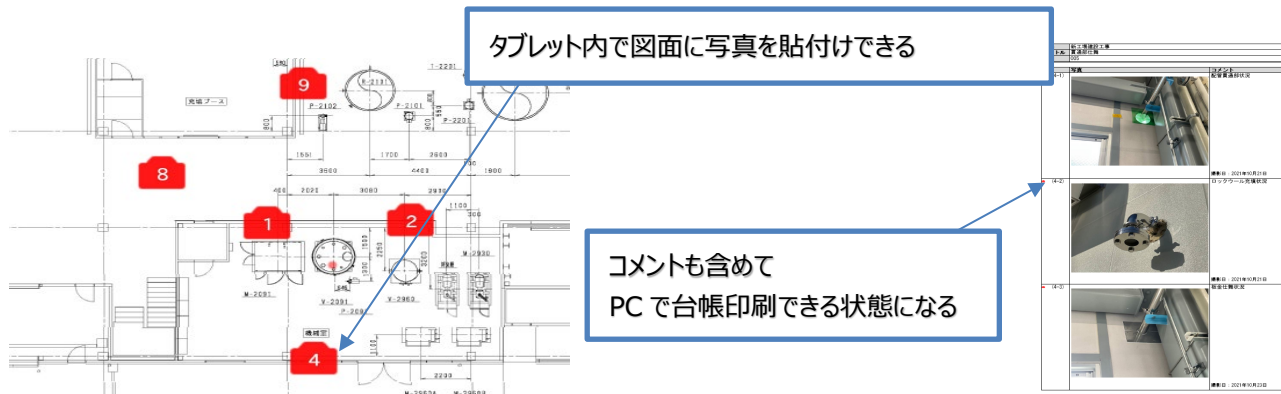
また、この改善内容をその部署全員で活用できるよう、マニュアルも作成しています。



プラント事業部 施工管理のICT化の取り組み③ スパイダープラスの活用

プラント事業部では施工管理のICT化ツールの一つとしてスパイダープラスを導入しました。スパイダープラスは図面上に写真を貼付けする事ができ写真台帳が容易にできる、また、端末上で作成した資料をクラウド上でメンバー間で共有する事ができます。綜研テクニクス様様の案件では、現場へタブレットを持ち込みパンチリスト作成や、工事写真、気密テストなどの作業記録写真の台帳作成と図面の確認などで活用しました。

活用してみて分かった事は現場で指摘を挙げる事や写真整理のし易さに特化していて良い面も多数ありましたが、クラウドでの活用や作図補助機能やデータ登録など機能を十分に活用できていない部分もあり、そのあたりが今後の課題と感じました。今後は安全パトロールの中にも取り入れていき、無災害へも繋げていきたいと思ひます。



(担当部署：プラント事業部技術2部Tel:0776-73-4407)

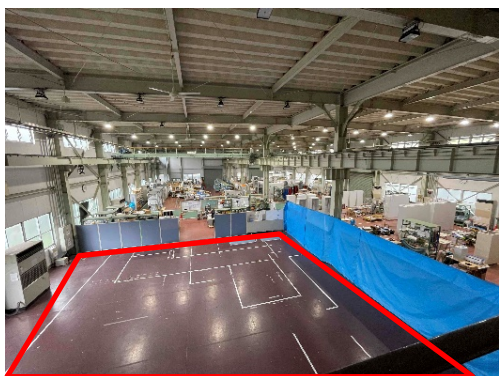
機器事業部電製部の製造体制強化について

機器事業部電製部は、大型案件に対応するための制御盤の製造体制強化を進めています。

2021 年度下期には、作業要員拡充に合わせ、園山工場の作業エリア拡大を進めており、東レエンジニアリングのテスト設備の移設跡を活用し、工場全体のレイアウト変更と環境整備を実施しています。

作業動線の改善のため、通路に点在していた配線材料類の棚を購入品、支給品エリアに集約、さらに、この機会に不要物の廃棄も進め、組立・検査を行う実作業エリアの 50% 増を図ります。合わせて、空調機の更新など作業環境の改善も実施予定です。このレイアウト変更で効率良く作業できる工場を目指し、12 月の完成に向けて電製部全員で推進しています。

(担当部署：電製部 077-534-4739)



赤枠がテスト設備移設跡



テスト設備移設跡に購入品、支給品を集約

【ボート競技】第 99 回全日本選手権大会

当社従業員の江本拓斗選手が、東レ滋賀ボート部の一員として、10 月 28 日から 31 日に開催された第 99 回全日本選手権大会にエイトで出場し、三位となりました。

今後も応援よろしくお願いします！



一番右が江本選手